

原水協活動 FAX News

発行: 原水爆禁止日本協議会

電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033

URL <http://www.antiatom.org/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2008年6月26日 No.58

大会パンフを普及・活用し、代表派遣につなげよう

2008年世界大会まであと37日となりました。すでに青森、長野、高知、宮崎などいくつかの県が昨年の学習パンフの普及数を超えてひろげています。パンフで学習し、代表派遣につなげましょう。



【山形】代表50人派遣目標めざし全力

昨年20人の代表を送り出した山形県原水協は、6月23日現在、すでに県内30人まで代表が決まっています。大会パンフも昨年水準にせまり、学習決起を強めています。加盟団体の主力である民医連が昨年同様方針化し、8人の目途を立て、これに参入してきたのが県労連。主力労組のひとつである生協労組から十数年ぶりとなる複数代表派遣を決めました。

地域では、田川が目標の10人を越え、11人と過去最高の数となっているほか、米沢市の4人、上山市の2人、さらに東村山地区では今年も親子派遣を検討しています。これらはすべて昨年の長崎大会参加メンバーが主力となって押しすすめているもの。

佐々木俊司事務局長は、「この流れを2010年のNPT再検討会議にまで大いに高めていきたい」と話しています。

【岡山】「PEACE / PIECE おかやま」結成

08年原水爆禁止世界大会と世界青年のつどいを成功させようと、青年たちが頑張っています。6月11日の実行委員会では会の名称を「PEACE / PIECE おかやま」ときめました。平和の小さなかけらが集まって、大きな平和をつくりだす、そんな思いを込めてのネーミングです(略称PPO)。実行委員長にはソワニエ看護学校1年生(19歳)を選びました。



PPOでは、世界大会・広島と青年のつどいに50人(バス1台)の参加をめざそうと決めました。そのための行動として、参加者を広く募る、出来るかぎり参加しやすいように財政活動でがんばる(平和行進50周年の記念Tシャツ販売で財政をつくる)、21万羽折り鶴プロジェクトの呼びかけに応え、1万羽を広島に届けよう、平和行進を成功させる。7月19日を「青年デー」として青年の参加をよびかける、県内通し行進の福田広史さん(23歳)を青年全体で支える青年サポーターを組織し、青年のタスキをリレーする、などをきめました。

国際カトリック平和運動「パックス・クリステイ」がG8にあたり声明を発表

世界各国で活動する100を超える加盟団体を持つ国際カトリック平和運動の「パックス・クリステイ」は6月8日、来月7日から9日に北海道で開催されるG8洞爺湖サミットにあたり、声明「完全で不可逆的な核兵器廃絶を達成するための力強いリーダーシップを」を発表し、日本原水協に送られてきました。(別紙参照)

声明は、広島と長崎への原爆投下という類をみない悲痛な経験をもつ日本が核兵器の保有、開発と国内への持ち込みを禁止してきたことが核兵器の惨劇を世界から無くそうと取り組んでいる全ての人々に希望を与えてきたと指摘し、日本国憲法第9条も紹介しながらG8の指導者たちが核兵器の完全で不可逆的な廃絶の達成と不拡散条約(NPT)と不拡散体制の強化のために、力強いリーダーシップを発揮するよう求めています。